

特集：
ON TRACK FOR GREATER GROWTH

特集1：
強いところをさらに強くする
—アウトソーシング事業—

特集2：
グローバル展開を加速する
—地域別の取り組み—

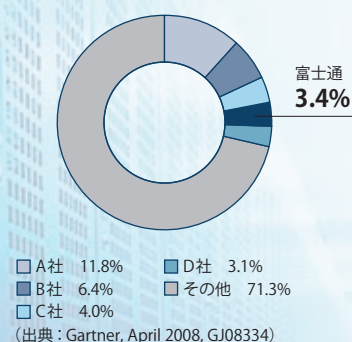
ON
TRACK
FOR
GREATER
GROWTH

特集1: 強いところをさらに強くする ―アウトソーシング事業―

アウトソーシングは、一般的に経営機能や資源の外部化、または外部調達を総称したものと定義づけられ、総務・人事・経理・販売・生産など全ての経営機能が対象となりますが、IT分野におけるアウトソーシングでは、情報システムの構築から運用までを、必要な設備と共に外部に戦略性を持って一括委託することを指します。

富士通は、アウトソーシング事業を今後のさらなる成長を牽引する中核事業の一つと位置づけ、事業拡大を目指していきます。

2007年世界アウトソーシング市場シェア(金額ベース)



アウトソーシング事業の状況

当社は2004年3月期から国内アウトソーシング市場でトップシェアを維持^{*1}しており、世界でも第4位のシェア^{*2}を有しています。近年、企業の情報システム部門が自社のITシステム運用を専門の企業に委託するアウトソーシングへのニーズが高まっており、国内の市場規模は年々拡大しています。当社は、2008年3月期の国内アウトソーシング売上高5,143億円(前年比9%増)と、目標としていた5,100億円を達成しました。2009年3月期に6,000億円、2010年3月期には6,800億円と2桁成長を継続させ、売上高営業利益率では10%以上を目指しています。

アウトソーシング売上高目標(国内)

売上高：
2桁成長の継続
営業利益：
売上高営業利益率
10%超



アウトソーシングの
事業領域
データセンター
オンサイト(LCM)
サポートデスク
ネットワーク
APM
BPO

富士通サービス 売上高推移



海外では英国の子会社富士通サービスを中心にアウトソーシング事業を展開しています。

富士通サービスは、英国の政府系大規模アウトソーシング商談を中心に多くの実績を有していますが、最近ではニュース・情報プロバイダーであるReuters社向けのITインフラサービスを受注するなど企業向けのビジネスも拡大しています。また、グローバルなサービスの提供能力を拡大するために、ドイツのTDS社、スウェーデンのMandator社を買収するなど、事業の積極展開を図っており、2008年3月期の売上高は、2,567百万ポンドとなりました。

*1 出典: IDC, August 2007

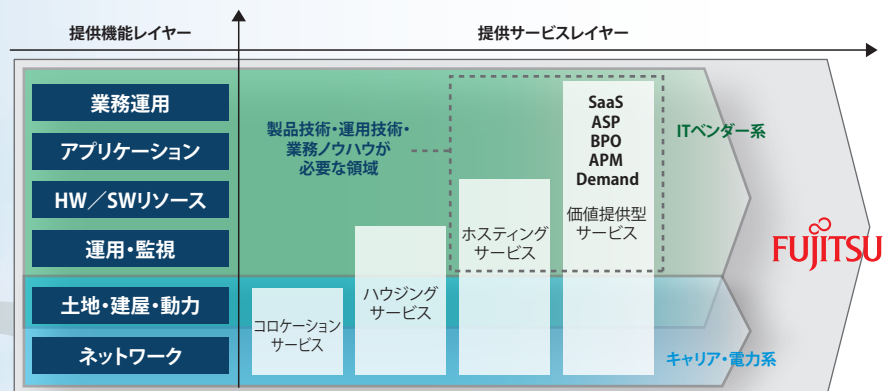
*2 出典: Gartner, April 2008, GJ08334

富士通の強み

当社はアウトソーシングを提供するサービスのレベルによって、コロケーションサービス(データセンターのファシリティ〈建屋・動力〉やネットワークを提供するサービス)、ハウジングサービス(コロケーションサービスに加え、運用・監視を提供するサービス)、ホスティングサービス(ハウジングサービスに加え、ハードウェア・ソフトウェアリソースを提供するサービス)、価値提供型サービスの4つに大きく分けています。当社は、ネットワークインフラから、ファシリティ、プロダクト、高付加価値型サービスまでを体系化し、これら全てのサービスをワンストップで提供できる唯一の企業です。

提供サービスと競合比較

高付加価値・製品プロダクト・ネットワークまで 貫いて体系化・提供できるのは富士通のみ



アウトソーシングサービスメニュー

富士通のサービスメニューは多岐にわたりますが、主に次のようなものが挙げられます。

・ビジネスプロセスアウトソーシング(BPO)

人事、会計、購買、コンタクトセンターなど、お客様固有の様々な業務プロセスの一部または全部を代行するサービスです。

・アプリケーションポートフォリオマネジメントサービス(APM)

お客様のアプリケーション資産の維持・管理・保守作業を代行し、アプリケーション資産の継続的な品質改善と最適なIT投資を支援するサービスです。

・データセンターアウトソーシング

高度な信頼性と堅牢なセキュリティを備えた当社のデータセンター内にお客様のシステムをお預かりし、24時間365日保守・運用するサービスです。

・オンサイトアウトソーシング

お客様先に設置された自社運用のシステムを、当社センターからの遠隔操作、もしくはお客様先に常駐することによって運用・監視するサービスです。

・SaaS (Software as a Service)

お客様がハードウェア・ソフトウェアなどのIT資産を保有することなく、データセンターから提供される最先端のアプリケーション機能を、ネットワークを通じて必要なときに必要なだけ利用できるサービスです。複数のアプリケーションの連携やユーザーに合わせたカスタマイズなどを柔軟に実現することができます。

・オンデマンドアウトソーシング

システムリソースだけでなく、オペレーションや業務運用なども含めて、ITにかかわる様々なリソースをお客様が必要な時に必要なだけ使用し、その使用量に応じて課金を行うサービスです。

・オーガニックストレージサービス

仮想ストレージ技術を適用した「オーガニックストレージ」をお客様のニーズに合わせて活用いただくサービスです。大容量・長期保管に適したオーガニックストレージをデータセンター内に設置し、業務システムのストレージシステムとして利用できます。

・ネットワークアウトソーシングサービス

ネットワークインフラの提供だけでなく、ネットワークの運用全般を代行するサービスです。

アウトソーシングビジネスのグローバル展開

フィンランド 4センター
スウェーデン 1センター
オランダ 1センター
イギリス 6センター
スペイン 1センター
デンマーク 1センター

中国 2センター
韓国 1センター
日本 50センター

アメリカ 1センター

世界16ヶ国に展開中
データセンター:約80センター
コールセンター:29ヶ国語

ブラジル 1センター

タイ 1センター
マレーシア 1センター
シンガポール 2センター

オーストラリア 6センター

南アフリカ 1センター

アウトソーシング事業を支えるデータセンターのグローバル展開

当社は、アウトソーシングサービスを提供する上で欠かせない施設であるデータセンターとして、世界各地に約80拠点のデータセンターを展開しています。また、ヘルプデスクでは、様々な言語のお客様に対応できるよう、29ヶ国語に対応しています。

国内では、「富士通館林システムセンター」「富士通明石システムセンター」「富士通東京システムセンター」の3つの主要データセンターに加え、2007年12月に「富士通東京第2システムセンター」を開設しました。同センターは、従来の「富士通東京システムセンター」の2倍の電力許容能力を持ち、手のひら静脈認証やRFIDなどの最先端技術の活用によってさらに高度なセキュリティを備えており、既に多くのお客様にサービスを提供しています。

2008年に入り、タイや韓国など、アジアを中心にデータセンター拠点を開設し、お客様のニーズに対応するための基盤をグローバルに拡大しています。今後、国内では「富士通館林システムセンター」の増強(2009年10月)や、横浜におけるデータセンターの新設などに向け準備を進め、さらなる競争力の強化を図っていきます。



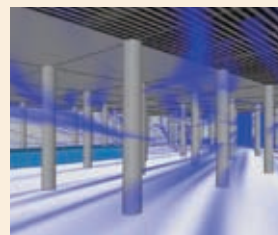
富士通オーストラリア保有データセンターの統合管制室

「グリーン・インフラ・ソリューション」でお客様の環境負荷低減

「グリーン・インフラ・ソリューション」は、富士通の省電力化に関するノウハウをベースに、お客様のファシリティを診断・設計・構築・運用支援するサービスです。

ITと建築のエキスパートである「富士通(株)一級建築士事務所」が、お客様のIT資産と運用ポリシーとの整合性を考慮しながら、導入効果の高い空調や電源、サーバールーム設備の最先端技術を評価・選定し、IT設備全体での最適化を実現します。2007年12月に開設した「富士通東京第2システムセンター」は、熱流体シミュレーションを活用したレイアウト設計など、最先端技術を駆使したデータセンターです。本センターで採用している技術を含め、全国50拠点のデータセンターにおける実践で蓄積してきた省電力化のノウハウをベースに、お客様のサーバールームやデータセンターを最適化します。

当社はお客様に本ソリューションを提供することにより、お客様のITインフラの消費電力、環境負荷を低減すると同時に、社会全体の環境負荷低減に貢献していきます。



熱流体シミュレーションを活用した、床下に配置されたケーブルなどの障害物のモデル化

世界アウトソーシング市場予測



(出典: IDC, Worldwide Services 2008-2012 Forecast, April 2008)

さらなる成長に向けて

企業のアウトソーシングに対する考え方が「単なるIT機能の一部」から、「自らの企業価値を高めるための手段」へと発展していく中、アウトソーシング市場も拡大が見込まれており、2007年から2012年にかけての年平均成長率は、国内が5.4%^{*3}、世界では8.4%^{*4}と、ほかのサービスに比べ高い市場成長が見込まれています。当社は、アウトソーシング事業を今後のさらなる成長を牽引する中核事業の一つと位置づけ、事業拡大を目指していきます。

具体的な施策として、先進データセンターの設立や最先端テクノロジーの適用、そして人材育成などの分野へ積極的に投資し、さらなる事業拡大を目指していきます。同時に、データセンターの省電力化や省力化を

推進することで運用コストを抑制し、競争力の強化と収益性向上の両面から事業拡大を図っていきます。また、富士通サービスの大規模アウトソーシングで培ってきたノウハウを活かし、他の地域にも展開することで、グローバルな事業拡大を図ります。

^{*3} 出典: IDC Japan, 2008年2月「国内ITサービス市場2007年の推定と2008年-2012年の予測」(J8460102)

^{*4} 出典: IDC, Worldwide Services 2008-2012 Forecast, April 2008

「ASP・SaaS・ICTアウトソーシングアワード
2007/2008」IDC部門で
「富士通館林システムセンター」が
総合グランプリ受賞

「富士通館林システムセンター」は、当社のアウトソーシングサービスの主要拠点となる施設で、1995年の開設以来、無事故のファシリティと充実した運用体制で高品質なサービスを提供しています。5,000台のラックが収容可能な安全かつ堅牢な施設、高度な運用ノウハウやサービスの充実度が高く評価され、総合グランプリを受賞しました。



2008年3月期の主なアウトソーシング商談実績

- ・本田技術研究所の基幹システムについて4年間の運用・保守を実施(日本)
- ・株式会社ほくほくフィナンシャルグループの共同災害バックアップシステムを構築(日本)
- ・スウェーデンの大手家電メーカー エレクトロラックス社からアウトソーシング契約を獲得(スウェーデン)
- ・英国政府少年・家庭裁判所サポートサービスより2,500万ポンド(約52億円)の契約を獲得(イギリス)
- ・英国2州の地方議会からERPソリューションのシェアード・サービス契約を獲得(イギリス)
- ・北アイルランド警察庁より最大で1億ポンド(約210億円)のICTマネージドサービス契約を受注(イギリス)
- ・英国ロイター社より大型アウトソーシング契約を獲得(イギリス)
- ・ドイツ アリアンツ社のITサービスプロバイダー、AGIS社より、4億ユーロ(約650億円)のアウトソーシング契約を獲得(ドイツ)
- ・英国Financial Services Authorityより、8,000万ポンド(約190億円)のアウトソーシング契約を獲得(イギリス)